

第2回定例会自民党代表質問

自転車のヘルメット着用について

法改正により、4月1日から自転車を利用する全ての人のヘルメット着用が努力義務化されました。死亡事故の約7割が頭部に致命傷を負っていることをふまえ、更なる着用促進のためヘルメット購入への助成とともに、自転車マナーの啓発に努めるべきと提言しました。



電動キックボードへの対応

電動キックボードは、7月1日より種別によっては16歳以上であれば免許がなくても乗れるようになり、ヘルメットの着用も任意、歩道も通行可となります。気軽に利用できる一方、交通ルールを知らないまま運転する人も増え、周りの方を危険にさらす可能性があることから、電動キックボードの環境整備やマナー啓発の促進を提言しました。



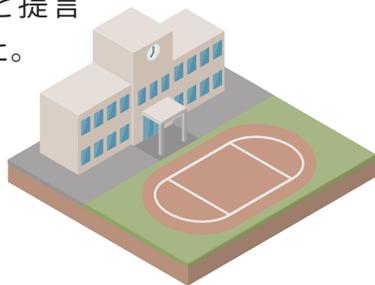
防犯カメラのスマート化

巧妙化かつ凶悪化している犯罪への対策として、防犯カメラの経年劣化による機種変更時期に併せ、遠隔操作で複数のカメラを一括管理できるネットワーク型の機種に切り替えることにより、犯罪抑止や迅速な犯人検挙へ繋げるべきと提言しました。



学校建て替え時の地下空間の活用について

災害時に地域の学校が区民の安全をしっかりと守る避難所としての機能を果たすため、地価の高い渋谷区においては建て替えにあたり、地下空間の有効活用も視野に入れるべきと提言しました。



国際的な共催イベントの招致

渋谷から生まれる独自のアートやカルチャーは国際的にも評価されています。今後もWeb3、NFT、eスポーツやアートなど、公共空間を活用した国際的なイベント等を招致し、更なる経済の活性化を図るよう求めました。



行政手続きのオンライン申請

行政サービスのデジタル化により、多くの行政手続きがオンラインでも可能になりました。区民の皆様が窓口に行く必要がなく、かつ職員の窓口業務の負担軽減にもつながるオンライン申請を推進していくため、手数料の更なる減額を提言しました。



「ハチ公バス」の運賃無料化

「ハチ公バス」の愛称で多くの区民に親しまれ、観光やショッピングなど様々な用途でも利用できるコミュニティバスについては、「福祉バス」という本来の役割を踏まえ、高齢者や障がい者等の社会参加を促すためにも、運賃を無料にすべきと提言しました。



敬老祝い金について

敬老祝い金贈呈事業は、長寿を祝うとともに、高齢者の健康や生活状況を確認する目的も合わせて実施されてきました。コロナ禍においてカタログギフトに切り替えられましたが、現金支給に戻してほしいという多くのご意見も踏まえ、あらゆる選択肢を検討の上、対象者に喜ばれる手法と内容を再考すべきと提言しました。



不登校支援について

不登校児童生徒への支援策は、「学校に登校する」ことのみを目標にするのではなく児童生徒が社会的に自立することを目指すべきです。子供たちの学びの選択肢として東京都が区市町村に提供すると発表している※「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」に参加すべきと提言しました。



※「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」自分を模したキャラクター(アバター)を操り、仮想空間の学校に登校してオンライン学習する仕組み。